

講座番号	407	体系区分	専門研修	主催	京都府総合教育センター
令和3年度 <b>育ちと学びをつなぐ幼児教育&amp;生活科講座 I</b> <b>実施要項</b>					
講座のねらい	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を基に、幼小の接続を踏まえた幼児児童への指導や支援について理解を深め、自校のスタートカリキュラムの実践につなげる。				
京都府教員等の資質能力の向上に関する指標との対応	ステージ2 中堅期（7年～15年） 観点：学習指導 ・学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できる。 ・各教科等の指導において、主体的・対話的で深い学びの充実に向けて、ICT活用も含め、授業改善や教材研究に取り組むことができる。				
受講対象員	教諭（幼稚園、小学校、義務教育学校及び特別支援学校） 30名				
日時	令和3年 6月17日（木） 10:30～17:00				
会場	京都府総合教育センター・京都府総合教育センター北部研修所				
10:30     12:00 13:00  16:00  17:00	講義題等		内 容		
	実践発表 ・ 研究協議Ⅰ	幼児の主体性を育てる環境構成	・質の高い保育について、実践発表を基に学ぶ。		
		宇治市立東宇治幼稚園 鳴門教育大学 京都府総合教育センター	教 諭 教 授 主任研究主事兼指導主事	中 村 清 美 木 下 光 二 杉 本 里 佳	
	講 義 ・ 演 習	育ちと学びをつなげる幼小の接続—保育・教育の質、接続カリキュラム作成、記録と発信の重要性—	・幼稚園教育要領や学習指導要領の趣旨を踏まえ、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を基に、幼児教育と小学校入学後の教育について理解を深め、接続カリキュラムの意義や作成について学ぶ。		
		鳴門教育大学	教 授	木 下 光 二	
	研究協議Ⅱ	アプローチ・スタートカリキュラムの効果的な活用	・自校（園）における「アプローチ・スタートカリキュラム」の作成や効果的な活用の方策について考える。		
		鳴門教育大学	教 授	木 下 光 二	
	そ の 他	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場は座席の間隔をとり、換気を行います。マスクの着用、センター玄関での手指の消毒又は石鹸での手洗い等を各自行ってください。  ・携行品……○校種ごとに次のものを準備してください。 ・幼稚園等教諭…自校種の教育要領（平成29年告示） ・小学校及び義務教育学校教諭…小学校学習指導要領（平成29年告示）解説生活編 ・特別支援学校教諭…幼稚部教育要領・小学部・中学部学習指導要領（平成29年告示） ○自校（園）の教育課程（指導計画）やアプローチ及びスタートカリキュラムを持参すること。演習で手持ち資料として使います。 ※令和3年度新規採用者研修「幼稚園教諭2」講座と合同で実施します。  ・担当部……研修・支援部 TEL：075-612-2952			